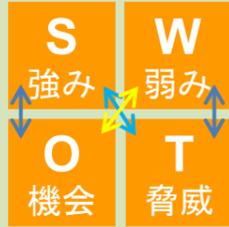


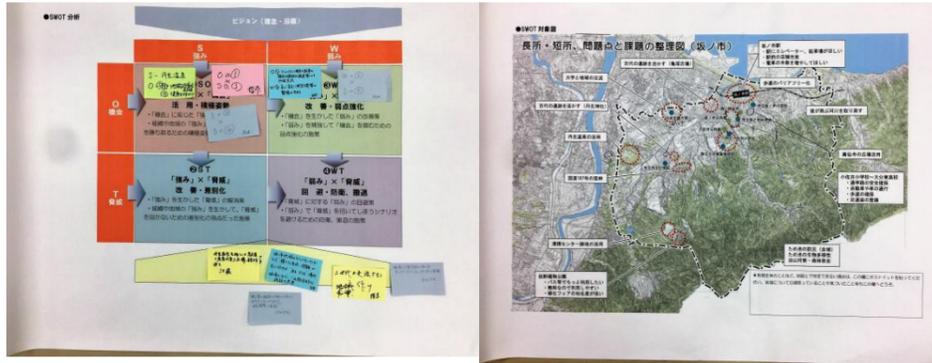


- テーマ 2
- ② まちづくりの方向性を踏まえ、SWOT 分析による事業の抽出
  - ③ SWOT 対象図に事業の抽出と共に該当する地点を図面に落としていきました。



- ①SO「S:強み」×「O:機会」(活用・積極姿勢)
- ・「機会」に応じた「強み」の活用策
  - ・組織や地域の「強み」を生かして、「機会」を勝ち取るための積極姿勢の施策
- ②ST「S:強み」×「T:脅威」(改善・差別化)
- ・「強み」を生かした「脅威」の解消策
  - ・組織や地域の「強み」を生かして、「脅威」を招かないための差別化の視点たった施策
- ③WO「W:弱み」×「O:機会」(改善・弱点強化)
- ・「機会」を生かした「弱み」の改善策
  - ・「弱み」を補強して「機会」を掴むための弱点強化の施策
- ④WT「W:弱み」×「T:脅威」(回避・防衛、撤退)
- ・「脅威」に対する「弱み」の回避策
  - ・「弱み」で「脅威」を招いてしまうシナリオを避けるための防衛、撤退の施策

1班 (チームさっしーⅡ)

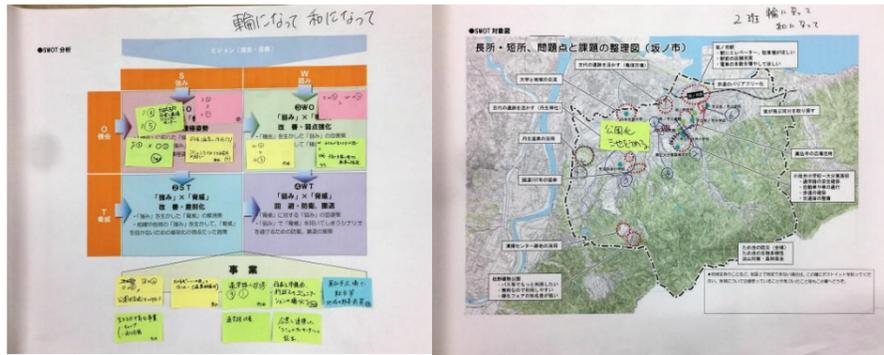


抽出された事業

- ① 3世代が交流できる事業づくり (SxO)
- ② 坂ノ市地区のコミュニティセンターとして様々な交流・経験がそこに行けば「ある」「できる」場所。坂の市といえば！の総合的な施設の充実 (WxO)
- ③ 丹生温泉を核とした高齢者と若者が集う広場・館を作る (SxO)
- ④ 坂ノ市の歴史資源を活かすネットワークづくりとイベントの実施 (SxO)
- ⑤ 坂ノ市の個店を住民に知ってもらう (マップ作り) 地元消費の喚起 (WxO)



2班 (輪になって和になって班)



抽出された事業

- ① 公園 (広場) を作りたい (WxO)
- ② 通学路の改修 (WxO)
- ③ 通学路改善 (WxO)
- ④ 大分市民「いこいの家」を作りたい (温泉施設付き) (SxO)
- ⑤ 住民と市議会、行政とのコミュニケーションの場作り (SxO)
- ⑥ 萬弘寺広場で朝市等地域の野菜販売 (SxO)
- ⑦ 生きる力を育む事業 (キャンプ・泊り合宿) (WxO)
- ⑧ 企業と連携した「コミュニティセンター」の設立 (SxO)



- ④ まちづくりアイデアを導き出した考案者が班のメンバー及び市職員と共に話し合い事業を導き出した。成果発表: 班の導いた事業の主要なポイントを発表しました。

番号	事業名	S/O				W/T				コメント
		+	-	+	-	+	-	+	-	
①	3世代が交流できる事業	●	●	●	●	●	●	●	●	・丹生地区では地域づくり行事が盛ん →現在は高齢者を中心に進めている →若者や子どもが積極的に地域に関わってほしい ・3世代が交流できれば地域が元気になる
②	坂ノ市地域のコミュニティセンターとして様々な交流経験がどこに行けば「ある」「できる」場所。坂ノ市といえど...の総合的な施設の充実	●	●	●	●	●	●	●	●	・坂ノ市は地域交流が盛ん(地域同士、子ども同士) ・図書館は公民館、子どもルームは支所など総合的な施設が充実していない →小さくても全てのことができる施設があれば、自慢だらけの坂ノ市になるのでは
③	丹生温泉を核とした高齢者と若者が集う広場・館を作る	●	●	●	●	●	●	●	●	・丹生温泉の活用 →3世代が交流できる施設や広場を作る →クラブ活動や高齢者の遊べる場所 ・課題 丹生温泉周辺は県の所有物→市に移転してもらいたい
④	坂ノ市の歴史資源を活かすネットワークづくりとイベントの実施	●	●	●	●	●	●	●	●	・各校区の歴史を調査し、意見交換する場を設ける ・地域の歴史を、地域の方が歩いて回るイベントの実施 →健康づくりのイベントにもなる
⑤	坂ノ市の個店を住民に知ってもらう (マップ作り) 地元消費の喚起	●	●	●	●	●	●	●	●	・区画整理後、商店街が無くなった ・若い経営者を集め新しい商店街ができれば ・坂ノ市全体、広域的な商店街としてマップを作成 →消防青年部のお店や会社などを記載 →住民がどこになにかがあるかを把握できる

【1班 (チームさっしーⅡ)】

3世代が交流出来る事業は、お父さんお母さん世代がもっと地域の行事に積極的に参加して、地域の活性化をしてもらいたいという思いから出てきました。坂ノ市コミュニティセンターは様々な交流、経験ができる場所、総合的な施設で、今あるのですけれどもあっちこっち散らばっていて、なかなか活用しにくい。あそこに行けばこんなことが出来る、いろんな体験ができる、そんな施設のイメージです。次に、丹生温泉を核とした3世代交流の場所としてもっともっと活用できないか、おじいちゃんおばあちゃん世代、それからお父さんお母さん世代、子供の世代、いろんな施設を総合的に作り、交流できる、いろんな体験ができる、そういう施設に発展出来たらいいなと思います。また、坂ノ市の良さを生かすために、いろいろな歴史的な施設を活かしてウォーキングなどのイベントを行い、世代交流が実現できれば活性化につながっていくのではないのかなと、それから坂ノ市の商店街を活性化について、総合的にすべての商店街がつながって坂ノ市全体を商店街としてみる。そして、それぞれが情報を共有・発信し、坂ノ市全体の商店街として活性化できないか、そういうことを考えています。

番号	事業名	S/O				W/T				コメント
		+	-	+	-	+	-	+	-	
①	公園 (広場) を作りたい	●	●	●	●	●	●	●	●	・ため池 (2100坪) の土地は確保してある →スポーツができる一般的な広場に使用したい ・「公園」化には都市計画に入っていないので時間がかかる、「スポーツ公園」として返答待ち ・縦割り行政
②	通学路の改修	●	●	●	●	●	●	●	●	・毎朝、小佐井小前の信号を中心に交通渋滞 →小学生と高校生の自転車と車で毎日危険 ・自治会が要望しても教育委員会で対応が難しい ・道の幅は難しい →スクールゾーンや通行時間の制限、運転者との協力が必要
③	通学路改善	●	●	●	●	●	●	●	●	・環状線の国道197号を早く繋げる努力が必要 ・坂ノ市地域全体が問題 (小佐井が中心)
④	大分市「いこいの家」を作りたい	●	●	●	●	●	●	●	●	・丹生温泉を活用し市民のいこいの家をつくる ・3世代のふれあいの場としても活用
⑤	住民と市議会、行政とのコミュニケーションの場づくり	●	●	●	●	●	●	●	●	・住民の要望が行政や市議会議員にうまく伝わっていない →住民と行政が定期的なコミュニケーションの場を設ければよいのでは ・予算の都合などお互いに理解、納得できる部分もあるのでは
⑥	萬弘寺広場で朝市等 地域の野菜販売	●	●	●	●	●	●	●	●	・萬弘寺の広場が活用されていない (1年で1週間だけ) →朝市等を開催し地域の野菜を販売する →地域のコミュニティの場にもなる ・使用手続きが難しい ・営利活動を行うと使用料が発生する
⑦	生きる力を育む事業 (キャンプ・泊り合宿)	●	●	●	●	●	●	●	●	・しつけ (他人から) の場が必要 ・お泊まり合宿など集団での学習の機会をつくる →地域の公民館などに泊まり込み学校に行き、帰ってきたら昔の遊びや裁縫などを教わるなど
⑧	企業と連携した「コミュニティセンター」の設立	●	●	●	●	●	●	●	●	・地域と企業の連携を図る ・地域の企業に福利厚生施設 (プール等) の開放をお願いする

【2班 (輪になって和になって班)】

具体的な近々の課題として、小佐井地区に公園がないので子供たちが遊べる公園を作りたいとか、小学校の前の道路が大変危険で、この通学路をなんとか改善してほしいということが出ています。あと萬弘寺の広場、せっかく作ったのに全然活用されていないのもっと活用する方法を考えてほしいとか、それからせっかく丹生温泉があるのだから、いこいの家のような形でコミュニケーションの場を作りたい。それから、企業の施設を住民に開放してほしいといった意見がありました。一方、長期的なところでは、こういった問題があって行政と意見のすり合わせが出来ていないということなので、もっとコミュニケーションが図れる場所を作った方がよいということです。子供の教育に関してですが、これから子供が生きる力を育てるために、宿泊型とかそういった教育事業とかを地域として進めていくべきではないかといった意見がありました。